

## 「専門学校における情報提供への取組に関するガイドライン」の項目とその対応

### 1. 学校の概要、目標および計画

#### 1) 学校の概要

校長名	佐藤 健一郎
所在地	神奈川県横浜市南区中村町5丁目315番地
連絡先	045-261-0520

#### 2) 学校の沿革

1932年	神奈川県で最初の自動車学校として横須賀自動車学院設立
1935年	神奈川自動車学院として横浜市内へ移転
1952年	財団法人神奈川自動車学校認可
1961年	神奈川自動車学校整備専修科認定(運輸大臣許可)
1964年	第一種自動車整備士養成施設指定
1984年	神奈川自動車専門学校に名称変更 2級自動車整備士資格(ガソリン・ジーゼル)実技試験免除校として認定
2000年	钣金塗装科設置
2002年	2級自動車整備士資格(二輪)実技試験免除校として認定
2003年	TOYOTA Netz Cup Vitzシリーズに初参戦し、チャンピオン戦にて優勝
2004年	钣金塗装科(1年)が専門課程として認可
2005年	横浜テクノオート専門学校に名称変更(新校舎完成)
2006年	財団法人神奈川自動車学校より学校法人五大へ変更
2009年	「3年コース」から「総合整備士コース」に名称変更 新校舎完成
2010年	1級自動車整備科設立 「高度総合整備士コース」導入
2014年	ベトナムの国立大学(タイグエン情報技術通信大学[ICTU])、 横浜デザイン学院と3校連携の協定を締結
2016年	1級自動車整備科、自動車整備科の2課程が文部科学省より 「職業実践専門課程」に認定される(2016年4月入学生より)
2018年	新設学科「国際エンジニア科」スタート 1期生20名が入学
2020年	「钣金塗装科」を「ボディ・エンジニア科」にリニューアル

### 3) 教育目標

「夢を持って社会人に」、「チャレンジ精神」というスローガンに基づき、実践的な技術や基礎知識の習得だけでなく、挨拶や礼儀作法など人間性の向上を重視した教育を進めている。

教育目標としては、「国家試験合格率100%」「就職率100%」「退学者0」を掲げている。このためには学生が自ら主体性を持って勉学に勤しむ環境づくりが欠かせないものであるとともに、企業・関連団体のご協力を得ながら進めていくことも重要である。

企業で必要とされる人材像を的確に把握し、教育カリキュラムに反映させていく。また教職員の資質向上のために、研修を通じて企業様にご協力頂く。こうした、教育の質向上に対する取り組みについて保護者の方々にもご理解を深めて頂く。

最終的には企業に優秀な人材を送り、日本の自動車産業の発展に貢献することを当校の教育目標とする。

## 2. 各学科等の教育

### 1) 概要

学 科 名	① 自動車整備科 ＜職業実践専門課程＞	② 1級自動車整備科 ＜職業実践専門課程＞	③ 钣金塗装科	④ 国際エンジニア科
分 野	工 業	工 業	工 業	工 業
課 程 名	工業専門課程	工業専門課程	工業専門課程	工業専門課程
専 門 士	専門士	高度専門士	—	—
修業年限	2年	4年	1年	1年
昼 夜	昼	昼	昼	昼
総 定 員	160人	80人	40人	20人
実 員	140人	62人	23人	24人
教 員 数	9人	4人	3人	2人

令和 元年5月1日現在

### 2) 目的と計画

#### ① 自動車整備科

自動車整備に関する基礎的な技術と知識を修得するとともに、国家資格である2級自動車整備士資格を取得させ、基幹産業である自動車業界に安定して優秀な人材を供給していくことで自動車産業の発展に寄与することを目的とする。

1年次には3級整備士相当の基礎的な知識と技術を学びながら、自らの進路選択の情報とするため短期インターンシップ(11月・32h)を実施する。2年次には総合的に車両1台すべての故障探究を含めた点検・整備作業が行える知識と技術を習得する。

施設面では、国家資格の実技試験免除となる一種養成施設であるため必要な教材や設備が網羅されていることはもちろん、国土交通省から認められた認証工場(2-1549)の資格も持っており、実践的な職業教育を行う環境が整っている。

#### ② 1級自動車整備科

最新の自動車整備技術と知識、顧客対応力を習得し、1級小型自動車整備士資格を取得する。自動車業界を牽引する優秀な人材を供給していくことで自動車産業の発展に寄与することを目的とする。

1・2年次は自動車整備科同様のカリキュラムとなる。3年次には新技術のしくみや役割について理解を深める。4年次には高度な知識と技術だけでなく社会人としての実践力を習得するための長期インターンシップ(6～8月のうち28日間(220h))なども実施する。

最新の技術を習得するため、ハイブリッド、クリーンディーゼルを始め、衝突被害軽減装置など最新の電子デバイスを搭載した実習車両や、外部診断機等を揃えている。

③ ボディ・エンジニア科(令和2年4月より科名変更。令和元年度までは钣金塗装科)

国家2級(1級)整備士資格取得者(見込み含む)を対象に、実践力を養うためのカリキュラムを、企業からの意見をもとに構築。卒業後の実社会で即戦力となるボディマン育成を目的とする。

年度の前半は機器の取扱い知識や有機溶剤作業主任者資格の取得、パネル教材での修正・塗装作業を中心に行い、後期からは総合実習として車両本体を教材とした全塗装を見積り段階から実施し、納期を意識した総合的な実践力を養成する。

先進安全自動車(ASV)のエーミング作業等も実習に採り入れる。

④ 国際エンジニア科

主に留学生を対象とし、自動車に関係する用語の日本語を学ぶ。同時に日本での就労を念頭にビジネスマナーや商習慣、文化なども学ぶ。

一年間自動車に関連する日本語を学んだ後に自動車整備科へ進学し、日本人と同じクラスで2級自動車整備士を目指す。

⑤ 年間スケジュール例

月	行事例
4月	入学式 合宿研修(自動車整備科1年生) 合宿研修(1級自動車整備科1、3、4年生)
5月	健康診断 有機溶剤作業主任者講習(钣金塗装科) 1級口述試験※前年度卒業生
6月	球技大会 安全運転講習(1級3年生)、2輪車安全運転講習、保護者授業見学会
7月	インターンシップ(1級4年生・6～8月) 工場見学(钣金塗装科)
8月	2輪講習(各科1年生・2年生の選択者) 夏期休暇
9月	防災訓練 工場見学(各科1年生) ソーシャル検定中級(各科2年生)・上級(1級3年生)
10月	後期授業開始 2級2輪国家試験※前年度卒業生・選択者
11月	インターンシップ(各科1年生)、自動車検査場見学(1級4年生)、実習試験見学会
12月	海外研修(各科2年生) 冬期休暇
1月	東京オートサロン見学
2月	自動車検査場見学(2年生)
3月	卒業式 2級・1級国家試験 春期休暇

3) 科目等の概要

本校ウェブサイトの掲載資料をご参照ください。

#### 4) キャリア教育

- ① 担任教師との進路面談、保護者面談を通じて学生の適性と希望進路を調査
- ② 専任の就職指導担当者によるビジネスマナー講義、履歴書・面接指導
- ③ 学校に企業を招き説明会を開催、卒業生講話や新技術講習なども行う

### 3. 学生の生活支援

#### 1) 学校カウンセラーによる相談室開設

学業や対人関係を含めた学校生活全般に関する相談窓口として、専任のカウンセラーが1ヶ月に2回来校している。昼休みと放課後に個別面談の時間を設けカウンセリングを実施している。

#### 2) クラブ活動等 ※年度により部員数が変わるため活動していない部もあります

スポーツ系・文化系問わず様々なジャンルで活動している。活動規模や予算に応じて部活動・同好会・サークル活動とに分かれている。

今後も学生の要望に応える形で新たな活動を支援する。

##### ① バスケットボール部

- ・ 月に2～4回、近隣の体育館を借りて練習を実施。
- ・ 神奈川県専門学校体育大会出場

##### ② サッカー／フットサル部

- ・ 月に2～4回、近隣のグラウンドを借りて練習を実施。
- ・ 神奈川県専門学校体育大会出場
- ・ 神奈川県内各地区で開催される大会に出場

##### ③ 卓球部

- ・ 月に2～4回、近隣の体育館を借りて練習を実施。
- ・ 神奈川県専門学校体育大会出場 (平成27年、28年、30年、令和元年 全国大会出場)

##### ④ エコラン部

- ・ 2輪実習車両を使用し、1リットルの燃料でどれくらいの距離を走行できる

かを競う「本田宗一郎杯 HONDA エコマイレージ・チャレンジ」に出場する。

(平成28年、29年、令和元年 全国大会にて二輪車クラス優勝)

- ・ 競技車両の製作を通じ整備技術を磨く。

#### ⑤ レーシングカート部

- ・ 富士スピードウェイ等 サーキットを借りて走行会を実施。タイム計測を行う。
- ・ カートのドライビングを通して安全運転技術の向上を図る。
- ・ カート車両のメンテナンスを行うことで自動車整備技術を深める。

シルビアS15型にチューニングを施し、「Fuji-1 GP」(耐久レース型の走行会)に参戦。

#### ⑥ トレーニング同好会

- ・ 健康で丈夫な体を作るため、週に1回当校実習室にて基礎体カトレーニング・体幹トレーニングを実施。

#### ⑦ フォトグラフィー同好会

- ・ 学校の課外授業や各部活動や同好会、サークル等の活動風景を撮影し、学校公式SNSへの投稿、掲示版への掲載等を行う。
- ・ JAMCA等、各種フォトコンテストにも作品を応募する。

#### ⑧ 钣金塗装サークル

- ・ 钣金塗装科在籍学生以外でも参加可能。ヘルメットや楽器など、個人の持ち物に塗装を施すことができる。钣金塗装士の職業理解、技術の向上を図る。

#### ⑨ LEDサークル

- ・ 室内灯やウインカーなど、LEDを使用した灯火類等のパーツを自作する。部品の製作作業を通して電気に関する知識を深める。

#### ⑩ フィッシングサークル

- ・ 季節や狙った魚に合わせて海、川、湖、磯などへ出かけて釣りを楽しむ。漁場までの道程を、ドライブやツーリングとして楽しむ。

#### 4. 学生納付金・修学支援

##### 1) 学生納付金 ※令和2年度より適用

###### ① 自動車整備科

納付区分	入学金	入学検定料	授業料(学科)	授業料(実習)	設備維持費	諸費用
1年次	200,000円	20,000円	500,000円	300,000円	260,000円	250,000円
2年次	—	—	500,000円	300,000円	260,000円	130,000円

###### ② 1級自動車整備科

納付区分	入学金	入学検定料	授業料(学科)	授業料(実習)	設備維持費	諸費用
1年次	200,000円	20,000円	500,000円	300,000円	260,000円	250,000円
2年次	—	—	500,000円	300,000円	260,000円	130,000円
3年次	—	—	510,000円	320,000円	240,000円	150,000円
4年次	—	—	510,000円	320,000円	240,000円	150,000円

ただし、他の自動車整備専門学校・自動車短期大学等からの本校1級自動車整備科への3年次編入学の者は、入学金と入学検定料を別途申し受けるものとする。

###### ③ 钣金塗装科

納付区分	入学金	入学検定料	授業料(学科)	授業料(実習)	設備維持費	諸費用	教材費
1年制	200,000円	20,000円	265,000円	465,000円	240,000円	150,000円	430,000円

ただし、本校の内部進学者は入学金・入学検定料を免除する。

###### ④ 国際エンジニア科

納付区分	入学金	入学検定料	授業料(学科)	授業料(実習)	設備維持費	諸費用
1年制	200,000円	20,000円	440,000円	60,000円	40,000円	40,000円

## 2) 修学支援

人物・学業ともに優秀で、学習意欲が高く自動車整備業界で幅広く活躍する意志を持った学生を支援する本校独自の学費優遇制度。

### ① 特待生制度（若干名）

区分	減免額	対象学科／コース名	備考
特待A	480,000円	1級自動車整備科 高度総合整備士コース	3年次学納金より減免
特待B	400,000円	総合整備士コース	3年次学納金より減免
特待C	200,000円	全学科・全コース	初年度学納金より減免

指定校推薦、学校推薦の入学試験で受験をした方の中で、特待生入試を希望した方。学力検査(国語・数学・理科)、作文、面接、書類審査にて選考する。

### ② 在校生奨学金制度（若干名）

区分	減免額	対象学科／コース名	備考
奨学生A	240,000円	1級自動車整備科 高度総合整備士コース	3年次学納金より減免
奨学生B	200,000円	総合整備士コース	3年次学納金より減免

特待生、スカラシップ(後述)生以外の上級学科に進学予定の在校生を対象に、作文と面接を実施して選考する。

### ③ AOスカラシップ制度（若干名）

区分	減免額	対象学科／コース名	備考
スカラシップ生	200,000円	AO入試合格者全員	初年度学納金より減免

AO方式入学試験合格者を対象に、学力検査(国語・数学・理科)、作文、面接、書類審査を実施して選考する。



## 5. 学校の財務

本校ウェブサイトの掲載資料をご参照ください。

[https://www.godai.gr.jp/techno/school\\_prospectus\\_top/information/](https://www.godai.gr.jp/techno/school_prospectus_top/information/)

## 6. 学校評価

本校ウェブサイトの掲載資料をご参照ください。

[https://www.godai.gr.jp/techno/school\\_prospectus\\_top/information/](https://www.godai.gr.jp/techno/school_prospectus_top/information/)

## 7. 国際連携の状況

### 1) ベトナムの大学との連携

ベトナムの首都ハノイの北約80kmにある「タイグエン情報通信技術大学」と提携。

同大学内に新学科「自動車電子科」を設立する際に教員の研修を受入れ。自動車に関する座学と実習を実施。

また同科のカリキュラム策定や教材選定に携わる。

今後は同大学卒業生の当校留学についても受入れを行う予定。

平成30年度は、2年生の海外研修において同校を訪問し、学生間交流を実施予定。

参考 外部サイト[専門学校新聞社 SENGAKU NET キャンパスニュース 平成29年3月20日付掲載記事]

横浜テクノオート専門学校と横浜デザイン学院の2校がベトナムのタイグエン情報通信技術大学を視察、連携教育成果の検証も(平成29年3月20日)

<http://www.senmon.co.jp/FMPro?-db=news.fmj&-format=news%5fdata.html&-lay=cgi&%91%53%95%b6%97%70=%89%a1%95%6c%83%65%83%4e%83%6d%83%49%81%5b%83%67&-recid=37087&-find=>

※現在はリンク切れで閲覧できなくなっています

以上